

| | | | | |
|------|--|----------|-------------|---------------|
| | | | 科目コード | 240 |
| 科目名 | 技術特論 (Nursing Skills and Techniques) | | 開講学科 | 看護学科 |
| 選択区分 | 必修 | 単位数 (時間) | 1 単位 (30時間) | 履修時期 |
| | | | | 3 年次後期～4 年次前期 |
| 担当教員 | 看護学科全教員 (基礎教育講座教員を除く) | | 科目区分 | 専門科目 |
| 授業概要 | 看護実践能力の獲得に向けて、既習の知識と技術を統合し、実践に近い状況設定において状況判断からケア提供までの一連のプロセスを模擬展開することによって、判断力・技術力を高める。 実習ポートフォリオを用いて卒業までに習得すべき看護技術項目を確認し、領域別実習前・中間・終了後の3回、ピアレビューや4年生との交流によって、自己の課題を明らかにし、実践能力の獲得に向けて自主的な計画を立案する。 | | | |
| 授業目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1 実習ポートフォリオを用いて卒業までに習得すべき看護技術項目を確認することができる。 2 根拠や手順をさらに学ぶ必要のある看護技術を明らかにし、習得に向けて計画立案できる。 3 設定された対象者の状況を正しく把握し、安全・安楽、説明と同意、プライバシー保護の基本原則および個別性をふまえてアセスメントができる。 4 アセスメントした事例に必要なより確かな技術を再学習し、領域別実習がスタートできる。 5 看護実践能力の獲得に向けて残された自己課題とその対処法を明確化できる (総合実習前)。 | | | |

授業内容

| 回 | 項目 | 内容 | 担当 |
|---------------|---------------------|---|---|
| 1 ～ 2 | 習得すべき看護技術項目の確認と計画立案 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護実践能力の獲得に向けて卒業までに習得すべき看護技術項目を確認する。 実習ポートフォリオ「私の看護技術実践」のリフレクション ・卒業までに習得すべき技術項目と到達目標を「看護技術定義表」で確認する ・「実践力ステップアップレコード」を用いたグループワーク 2. 領域別実習における技術習得の計画立案 ・各看護学の技術演習を踏まえ、根拠や手順をさらに学ぶ必要のある看護技術を明らかにする ・いつ・どのように学習するか、計画を立案し、4年生の助言を受ける | 学科WG |
| 3 ～ 12 | 技術演習 | 領域別実習のスタート領域に分かれて技術演習を行う <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション (技術演習の目的とスケジュール) 2. 事例のアセスメント 看護実践場面を想定した事例の提示を受け、個別にアセスメントを行う アセスメント結果を持ち寄り、カンファレンスを行う 3. 事例へのケアに必要な技術の自己学習 ケアプランに基づき、必要な技術の自己学習を行う 4. 場面設定に基づく技術演習のチェック メンバー間チェック、教員チェックにより、自己課題を見極める | <領域> 急性期看護論 慢性期看護論 老年看護学 精神看護学 地域看護学 |
| 13 ～ 15 | 自己の成長ならびに課題と対処の確認 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護実践能力の獲得に向けて残された自己課題と対処法の明確化 1) 実習ポートフォリオ「私の看護技術実践」のリフレクション 「実践力ステップアップレコード」を用いて場面を想起し、技術の上達度を言語化する 2) ピアレビューによる他者評価・自己評価を行う | 学科WG |
| 成績評価方法 | | 技術演習評価 60 点、私の看護技術実践ピアレビュー評価 40 点 | |
| 教科書 | | 各看護学の技術演習で使用した教科書 | |
| 参考図書等 | | 各看護学の技術演習で使用した参考書・資料等を活用する | |
| 備考 | | 実習ポートフォリオ“医技Diary”を持参すること 第13～15回の授業は、中間(1月)と全領域別実習の終了後(4年次前期)に実施する | |